

組織的な学習支援について考えてみよう

清水 栄子(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 准教授)

石田 明菜(立命館大学学生部(BKC)特定業務専門職員 SSP コーディネーター)

講師略歴

【清水 栄子】専門は高等教育、アカデミック・アドバイジング、学習支援、教職員能力開発。広島大学教育研究科人間科学専攻博士課程修了(博士(教育学))。国立高等専門学校法人阿南工業高等専門学校 FD 高度化推進室特命講師、愛媛大学教育企画室助教、講師、追手門学院大学共通教育機構准教授などを経て、2024年4月より現職。日本アカデミック・アドバイジング協会(JAAA)会長。著書に『大学の学習支援 Q&A』(共編著)、『アカデミック・アドバイジングーその専門性と実践ー日本の大学へのアメリカの示唆』(単著)がある。

【石田 明菜】臨床心理士・公認心理士として、東邦大学大森病院など医療機関や武蔵野市教育センターなど教育機関で勤務。カウンセリング・発達検査・学校巡回などの業務を経て、2017年度より立命館大学で StudentSuccessProgram のコーディネーターとして立ち上げから関わる。

プログラム概要

多様な学生を受け入れる高等教育機関において、学習支援は重要な役割を担っています。しかしその範囲は広く、学生のニーズに応じた支援を行うには、各大学の文脈に即した組織的な対応が求められます。本プログラムでは、学習支援を「学生の学習に関わる課題解決の支援を、個別および組織的に提供する活動」と捉え、参加者同士でその意義やあり方を考える機会とします。まず、学習支援の背景や意義について講義を行い、各大学の取組みや課題をグループで共有します。立命館大学の StudentSuccessProgram (SSP) の事例も紹介しながら、ディスカッションやワークを通じて組織的な支援の可能性と実践をともに探ります。参加者には、所属機関の学習支援体制を紹介できるよう準備いただき、積極的かつ建設的な参加を期待します。

準備物・事前課題

所属大学における学習支援の体制・取組みについて紹介できるように準備をしておいてください。

主な受講対象者

- ・所属大学の学習支援に課題を感じている教職員
- ・学習支援に興味・関心がある教職員

到達目標

1. 高等教育における学習支援の定義とその必要性を、自身の言葉で説明できる。
2. 所属大学における学習支援の体制・取組み・課題の現状を説明できる。
3. 所属大学の学習支援における組織的な課題と特徴を整理し、言語化できる。
4. 意見交換や活動を通して、参加者同士が学び合う雰囲気づくりに貢献できる。